

# ○名取市第六次長期総合計画の進捗状況について

## 分野目標① 安全・安心分野

【R4末時点の指標達成状況】 ◎…目標値達成 ○…中間値以上 △…基準値以上 ▲…基準値未満

### 【安全・安心分野における方向性・目標】

防災・減災対策や防犯対策、交通安全、消費者保護に対する一人ひとりの意識の高揚や知識の普及を図るとともに、関係機関・団体等との連携と地域コミュニティの活性化を図り、顔の見える関係づくりに取り組むことにより、地域全体で守り、支え合う安全・安心なまちづくりを推進します。  
また、防災・防災基盤や消防施設、交通安全・防犯施設等の計画的な整備や危機管理体制の強化等を推進するとともに、先端技術等を活用した見守りや情報収集・伝達、物資等の輸送、自己防止対策等を積極的に導入し、安全・安心な市民生活の確保を図ります。

<各項目の実績値の表記について>  
R4の欄に当該年度終了時点での実績値を記載。  
※指標名が【累計】の場合…2段書きで記載  
上段 : 当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)  
下段()書き: 当該年度(単年度)の実績値

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標			進捗管理			新型コロナウイルスの影響	進捗状況及び今後の取組方針について (令和4年度末の状況)	(新型コロナウイルスの影響が【有】とした場合) 指標とは代わる別の取組み状況等
						基準値(H29)	中間値(R6)	目標値(R12)	R2	R3	R4			
1	1-1	自主防災組織の組織率(%)	△ 30.0%	地域の防災の要となる組織を立ち上げることで、地域の防災力の向上につながるため。	防災安全課	基準値(H29) 78.0%	中間値(R6) 84.0%	目標値(R12) 90.0%	79.1%	80.3%	81.6%	無	令和4年度において、2組織増え、若干ではあるが組織率が向上した。引き続き未組織化の地区に声がけし、設立支援を行う。	
2	1-1	震災復興伝承館への来場者数(人)	◎ 485.0%	平成30(2018)年度の閉上への震災学習の来訪人数10,021人を基準とし、その7割が伝承館に立ち寄ると想定。最終目標においては、全ての方が立ち寄ると想定している。	商工観光課	基準値(H29) - 人	中間値(R6) 7,000 人	目標値(R12) 10,000 人	28,448 人	27,067 人	48,498 人	無	新型コロナウイルスの影響があった令和3年度に比較して約1.79倍となった。特に5月大型連休の来館者数が多く、引き続き多くの来館者に訪れてもらうことを目指しつつ、来館者の満足度向上にも努める。	
3	1-1	災害時に備えた食料・飲料・避難グッズなどを備蓄している人の割合(%)	— -	基準値は、H30に実施した市民意識調査問3の「食料、飲料、避難グッズなどを備蓄している」と答えた市民の割合とする。	防災安全課	基準値(H29) 57.1%	中間値(R6) 60.0%	目標値(R12) 65.0%	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。			無	市民防災マニュアルや地区防災マニュアルに備蓄の必要性を記載し、また防災講話などにおいても参加者に対して日頃の備えを推奨した。今後も機会を捉えて防災意識の高揚を図る。	
4	1-2	備蓄食料・飲料水の備蓄率(%)	◎ 104.7%	災害への備えとして備蓄が必要であり、全壊・大規模半壊・帰宅困難者11,000人分の3日間の食料等を備蓄する。基準値は、11,000食/66,000食×100=16.66%≒17.0%	防災安全課	基準値(H29) 17.0%	中間値(R6) 100.0%	目標値(R12) 100.0%	42.1%	70.5%	103.9%	無	名取市災害用備蓄食料・飲料水の備蓄計画に基づき備蓄を進め、目標値を達成した。今後も、目標数量を維持していく。	
5	1-2	全管路耐震率(水道)(%)	◎ 132.6%	管路全延長:461,888m H30までの耐震管路更新延長:104,662m 残非耐震管路延長:357,226m 年耐震管更新延長:年間1,786m	水道事業所	基準値(H29) 22.7%	中間値(R6) 25.0%	目標値(R12) 27.3%	26.6%	28.2%	28.8%	無	災害に強い水道の実現と安全・安心で良質な水の安定供給に向けて、計画的に管路更新を実施してきた。その結果、令和4年度末の全管路耐震率は28.8%となった。引き続き更新計画に基づき管路の耐震化を進める。	
6	1-2	応急資機材の整備箇所(箇所数)	▲ -16.7%	すべての指定避難所に応急資機材一式の導入を図るもの。公的機関のほか民間施設もあり、民間施設へも応急資機材の導入を促進していく。	防災安全課	基準値(H29) 29 箇所	中間値(R6) 35 箇所	目標値(R12) 35 箇所	27 箇所	28 箇所	28 箇所	無	令和元年度東日本台風を教訓として、浸水・土砂災害等被害が予想される避難所の見直しを行ったことにより指定避難所を28箇所に変更しており、そのうち28箇所全てに導入済みである。	
7	1-3	消防水利の整備率(%)	◎ 100.0%	消火栓及び防火水槽の整備を進めていく必要があるため、指標に設定した。(1%の数値を上げるには閑散地区に水道管の敷設や防火水槽の設置が必要となる) 現行数/基準数1,144基	消防本部	基準値(H29) 75.8%	中間値(R6) 76.2%	目標値(R12) 77.0%	76.8%	76.9%	77%	無	令和元年度に消防水利の基準数の見直しを実施したことで基準数が1,261基に変更となる。令和4年度末で現行数は971基であり、今後未設置地区への整備を視野に入れ指標値の向上を図る。	
8	1-3	救命講習普及に伴う受講者数(人)【累計】	△ 37.7%	市民相互の救助活動による救命率の向上等につながることから、救命講習受講者数の増加を図る必要があるため指標に設定した。 ・年間人口の約1%の受講者設定 ・年間780名程度の受講者を設定	消防本部	基準値(H29) 19,002 人	中間値(R6) 25,000 人	目標値(R12) 29,000 人	21,544 (538) 人	21,971 (427) 人	22,774 (803) 人	有	令和4年度は講習会の受け入れを中止していたものではないが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い受講希望者が少なかったもの。今後は広報等に力を入れて受講者の増加を図りたい。	救命入門コース・応急手当講習(ジュニア救命士講習含む)などの3時間未満の講習会を実施した。
9	1-3	住宅用火災警報器の設置率(条例適合率)(%)	◎ 100.0%	火災予防対策を推進していくため、主要施策においても設置促進に向けた取組を推進することを位置付けているため指標に設定した。	消防本部	基準値(H29) 61.0%	中間値(R6) 70.0%	目標値(R12) 80.0%	77.9%	79.1%	80%	無	令和4年度は前年度調査結果を0.9%上回り目標値を達成した。今後も設置率向上のため広報誌等への掲載や、防災講話等で点検や10年で交換が必要になることについても市民へ呼び掛ける。	
10	1-4	街路灯設置箇所数(箇所)【累計】	○ 59.2%	交通安全・防犯対策という面で街路灯の設置は有効であることから指標に設定した。考え方は、年度末における東北電力契約箇所数とした。(第五次長総時における数値設定の考え方を踏襲している。)	土木課	基準値(H29) 6,053 箇所	中間値(R6) 6,333 箇所	目標値(R12) 6,573 箇所	6,250 (61) 箇所	6,318 (68) 箇所	6,361 (43) 箇所	無	令和4年度については、前年度より43基契約数が増えた。今後、危険箇所に対し、街路灯の設置を進める。	
11	1-4	防犯対策に関する市民の満足度(%)	— -	基準値は市民意識調査の「満足している」「どちらかといえば満足している」の割合とし、目標値として50%とする。中間値は、基準値と目標値の中間を指標と設定した。	防災安全課	基準値(H29) 24.5%	中間値(R6) 35.0%	目標値(R12) 50.0%	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。			無	令和元年度より防犯カメラ設置事業補助金を実施している。令和4年度の実績は2団体(4台)。また、市内各地区防犯協会、名取市防犯協議会等と連携を図り、防犯対策に関する啓発活動などを行っている。今後も引き続き市民が安全で安心して暮らせる地域づくりを目指して取り組む。	

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	進捗管理			新型コロナウイルスの影響	進捗状況及び今後の取組方針について (令和4年度末の状況)	(新型コロナウイルスの影響が【有】とした場合) 指標とは代わる別の取組み状況等	
						成果指標	R2	R3				R4
12	1-4	交通事故(人身)発生件数 (件)	◎ 139.1%	交通事故の発生件数を減少させることが安全対策につながるため指標に設定する。 中間で実績値の10%減最終で20%減を目標に設定した。	防災安全課	基準値(H29)	330 件	184 件	170 件	177 件	無	令和4年度の交通事故発生件数は177件と目標値を達成する結果となった。交通事故は毎年減少傾向にあり、今後もさらなる減少に向かって交通安全運動を展開する。
						中間値(R6)	250 件					
						目標値(R12)	220 件	(進捗率) 132.7%	(進捗率) 145.5%	(進捗率) 139.1%		
13	1-5	消費者学習講座の受講者 (人)	▲ -10.4%	消費者教育又は被害事例、被害防止策等を周知していくための取組として消費者学習講座は有効であり、その受講者が増加することで被害にあう市民の減少が期待できることから指標とした。 年度ごとに受講者を増加させる指標とする。	市民協働課	基準値(H29)	535 人	284 人	138 人	523 人	有	コロナ禍でも開催できるよう、昨年同様「少人数・短時間でも対応可能」として講座のPRに努め、昨年度より受講者数を増加させることができた。資料のみ配布という形も取って学びのチャンスを継続させた。
						中間値(R6)	600 人					
						目標値(R12)	650 人	(進捗率) -218.3%	(進捗率) -345.2%	(進捗率) -10.4%		

# ○名取市第六次長期総合計画の進捗状況について

## 分野目標② 保健・福祉・医療分野

【R4末時点の指標達成状況】 ◎・・・目標値達成 ○・・・中間値以上 △・・・基準値以上 ▲・・・基準値未満

### 【保健・福祉・医療分野における方向性・目標】

市民の主体的な健康づくり活動を促進し、疾病の発症・重症化を予防するとともに、地域医療体制の強化や自分らしく安心して過ごすことができる居場所の創出等を図り、心身の健康の確保につなげます。  
また、保健福祉サービスの提供体制の充実に加え、保健・医療・福祉をはじめ各分野が連携しながら、包括的な支援がなされる体制の充実に努めるとともに、多様な主体が担い手となり、支え合う地域づくりを進めることにより、希望する結婚・出産の実現や子育てしやすいまちづくり、障がいの有無、年齢、家庭環境等にかかわらず自分らしく生きることを実現できる社会の形成を目指します。

<各項目の実績値の表記について>  
R4の欄に当該年度終了時点での実績値を記載。  
※指標名が【累計】の場合...2段書きで記載  
上段：当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)  
下段( )書き:当該年度(単年度)の実績値

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	進捗管理			新型コロナウイルスの影響	進捗状況及び今後の取組方針について (令和4年度末の状況)	(新型コロナウイルスの影響が【有】とした場合) 指標とは代わる別の取組み状況等	
						成果指標	R2	R3				R4
14	2-1	国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率(%)	▲ -4.4%	第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)における目標値60%を達成できるよう施策を展開していくため60%の最終目標を設定した。	保健センター 保険年金課	基準値(H29)	48.7%	40.3%	46.6%	48.2%	無	
						中間値(R6)	60.0%					
						目標値(R12)	60.0%					
15	2-1	国民健康保険被保険者の特定保健指導実施率(%)	△ 46.4%	第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)における目標値65%を達成できるよう施策を展開していくため65%の最終目標を設定した。	保健センター 保険年金課	基準値(H29)	46.9%	37.5%	57.4%	55.3%	無	
						中間値(R6)	65.0%					
						目標値(R12)	65.0%					
16	2-1	メタボリックシンドローム該当予備群の割合(%)	▲ -27.0%	第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)における目標値に合わせそれ以上該当が増えないようにする意味で指標を設定している。	保健センター	基準値(H29)	33.6%	36.8%	35.1%	35.3%	無	
						中間値(R6)	27.3%					
						目標値(R12)	27.3%					
17	2-1	肺がん検診受診率(%)	▲ -21.7%	がん検診の受診率向上により、早期発見・早期治療につなげ死亡率の低下につながるよう指標に設定。死亡率の高い肺がんを指標に設定。最終目標の50.0%は国の計画である第3期がん対策推進基本計画に合わせて設定している。	保健センター	基準値(H29)	37.1%	24.3%	31.1%	34.3%	無	
						中間値(R6)	50.0%					
						目標値(R12)	50.0%					
18	2-1	大腸がん検診受診率(%)	▲ -6.2%	がん検診の受診率向上により、早期発見・早期治療につなげ死亡率の低下につながるよう指標に設定。数あるがん検診の中から、死亡率の高い大腸がんを指標に設定。最終目標の50.0%は国の計画である第3期がん対策推進基本計画に合わせて設定している。	保健センター	基準値(H29)	40.3%	35.3%	36.5%	39.7%	無	
						中間値(R6)	50.0%					
						目標値(R12)	50.0%					
19	2-1	自殺死亡率(10万人対)	△ 88.9%	自死対策計画に併せた指標設定とし、自死対策計画においては、過去5年平均を算出し指標としている。算出方法は、自殺者数/人口×100,000	保健センター	基準値(H29)	22.1 <sup>10万人対</sup>	18.9 <sup>10万人対</sup>	16.3 <sup>10万人対</sup>	16.5 <sup>10万人対</sup>	無	
						中間値(R6)	16.4 <sup>10万人対</sup>					
						目標値(R12)	15.8 <sup>10万人対</sup>					
20	2-2	定期予防接種率(%)	▲ -210.0%	感染症のまん延予防の観点から、各予防接種の平均を指標と設定した。目標値においては、各予防接種の指針において95%を目標値に掲げられていることから、それにあわせ95%と設定した。	保健センター	基準値(H29)	94.0%	93.8%	88.5%	91.9%	無	
						中間値(R6)	95.0%					
						目標値(R12)	95.0%					
21	2-2	医療体制の充実に関する市民の満足度(%)	— —	基準値は、H30(2018)年実施の市民満足度調査の結果としている。11年間において、満足度10%向上を目指し、中間値は、基準値より5%向上で、28.5%×1.05=29.9%(小数点2位以下四捨五入)と設定。目標値は基準値より10%向上で、28.5%×1.1=31.4%(小数点2位以下四捨五入)と設定。	保健センター	基準値(H29)	28.5%	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。			無	
						中間値(R6)	29.9%					
						目標値(R12)	31.4%					

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標			進捗管理			新型コロナウイルスの影響	進捗状況及び今後の取組方針について (令和4年度末の状況)	(新型コロナウイルスの影響が【有】とした場合) 指標とは代わる別の取組み状況等
						R2	R3	R4	R2	R3	R4			
22	2-3	地域共生社会の実現には、住民と行政の協力が不可欠であるとする住民の割合(%)	— —	令和元年度策定の地域福祉計画の市民アンケートの調査結果を指標に設定。基準値は、その回答結果。この指標の住民割合を上昇させることが、地域共生社会の実現に近づくと想定し設定している。	社会福祉課	基準値(H29) 57.9 % 中間値(R6) 70.0 % 目標値(R12) 80.0 %	第二次地域福祉計画策定のための市民アンケート調査で確認することとしている。			無	令和4年度は、具体的な取り組みはしていないが、国や他市町村の取り組みについて情報収集を行った。			
23	2-4	待機児童数(人)	▲ 88.4%	地方創生総合戦略においても待機児童数の減少を数値目標に掲げており、待機児童が解消されていないことから、待機児童数の減少を成果指標に設定する。	こども支援課	基準値(H29) 43 人 中間値(R6) 0 人 目標値(R12) 0 人	24 人	9 人	5 人	無	令和4年度においては、認定こども園各施設の協力を得ながら、幼稚園枠の余りを保育枠へと振替え、保育定員を拡大したものの、申込数が増加したこともあり、待機児童数は前年微減の5人となった。R5.4.1入所に向けた調整においては、地域型保育事業を中心に、定員に大幅に満たない施設も発生してきていることから、需要を見極めながら今後の対応を検討する。			
24	2-4	乳児のいる家庭の実態把握(生後4か月まで)(%)	▲ -1.2%	虐待予防・早期発見の視点から生後4ヶ月の新生児に全数把握をすることで、適切な支援につなげる。目標としては現状維持。	保健センター	基準値(H29) 100 % 中間値(R6) 100 % 目標値(R12) 100 %	97.9 %	98.0 %	98.8 %	無	電話勧奨等により全数訪問できるよう対応している。しかし、3人目のため訪問不要、里帰りが長期になった等の理由で訪問できなかったケースについては、その後の3か月児健康診査において全数把握に努めている。			
25	2-4	子育てに関する市民の満足度(%)	— —	子育て支援については、数値が表れにくい分野であり、成果指標として満足度とすることが分かりやすい。基準値はH30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	こども支援課	基準値(H29) 17.2 % 中間値(R6) 20.0 % 目標値(R12) 25.0 %	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。			有	令和2年度から令和6年度までを計画期間とする「第2期名取市子ども・子育て支援事業計画」の3年目となる令和4年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、各種事業の実施に最大限務めてきた。今後については、withコロナを意識しつつもさらなる事業の展開を模索しながら、その利用状況や潜在的な利用ニーズの把握、計画の進捗状況の管理を行い子育てに関する市民の満足度向上につなげる。	子ども医療費助成について、令和4年10月診療分より拡充する。 ①対象年齢 0歳～中学3年生年度末→0歳～高校3年生年度末 ②所得制限の撤廃 ③小学生以上外来初診時の500円一部負担の撤廃		
26	2-4	中高生が保育所などにおいて、子どもとふれあう機会(人)	▲ —	中学生の職場体験を受け入れた生徒の人数を指標とする。H29の実績継続して受け入れ、次代の親の育成支援に努めていく。	こども支援課	基準値(H29) 150 人 中間値(R6) 150 人 目標値(R12) 150 人	0 人	0 人	0 人	有	令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中学校からの依頼はなく、受入実績はなかった。令和5年度は、5類移行に伴い各中学校からの依頼も想定されるため、受入可能な環境維持に努める。	依頼があったときを想定して、感染症対策を講じた受入体制づくりに努めた。		
27	2-5	子どもの貧困対策計画の策定及び推進	△ —	関係機関の連携体制を構築する手段のひとつとして計画を策定し、推進する。	こども支援課	基準値(H29) — 中間値(R6) 策定、推進 目標値(R12) 推進	未策定	未策定	未策定	無	令和5年度～着手予定。			
28	2-6	通いの場、高齢者ふれあいサロンあがらいい、高齢者生きがいづくり支援事業への参加者数(人)	○ 76.8%	介護予防に取り組んでいる人数を把握できることから、指標に設定した。	介護長寿課	基準値(H29) 20,279 人 中間値(R6) 27,855 人 目標値(R12) 33,270 人	22,630 人	24,321 人	30,254 人	無	通いの場(22団体)、高齢者ふれあいサロン(9団体)、高齢者生きがいづくり支援事業(20団体)の支援を行った。今後も活動が継続されるよう、理学療法士・作業療法士の派遣や助成金の交付など、引き続き支援を行う。			
29	2-7	障害福祉サービスの利用者の一般就労移行者数(人)	◎ 220.0%	市民意識調査の結果においても、障がい者福祉に力を入れるべき施策として、一般就労への移行支援等があげられている。障がい者が一般就労へ多く移行することで、障がい者への理解や地域全体で支え合う意識の醸成につながるものであるため指標に設定した。	社会福祉課	基準値(H29) 5 人 中間値(R6) 8 人 目標値(R12) 10 人	12 人	8 人	16 人	無	令和4年度は具体的な取組はないが、今後は先進事例や他市町村の取組について調査・研究を行う。			
30	2-7	障がい者福祉の充実に関する市民の満足度(%)	— —	障がい者福祉については、数値が表れにくい分野であり、成果指標として満足度とすることが分かりやすい。基準値はH30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。11年間で満足度を20%増加を目指すもの。	社会福祉課	基準値(H29) 12.6 % 中間値(R6) 13.8 % 目標値(R12) 15.0 %	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。			無	令和3年3月に「名取市障害者計画(R3年度～R8年度)」を策定した。策定にあたり市民アンケートを実施し、これまでの市の取り組み結果と課題を分析した。市民の声を反映した障害者計画に掲げる指標の達成に向け各種施策に取り組む。			
31	2-8	国民健康保険税の現年度収納率(%)	◎ 102.6%	国民健康保険制度の円滑な運営を図るには、保険料を納めてもらう必要があるため指標に設定。H30宮城県国民健康保険運営方針に基づく目標値の維持を目標とする。	保険年金課	基準値(H29) 92.55 % 中間値(R6) 92.55 % 目標値(R12) 92.55 %	94.47 %	95.03 %	94.99 %	無	督促催告書の発送により、早期納付に向けて取り組んだ。滞納整理については、個々の事情を勘案しながら納付計画の相談に応じた。適正な滞納整理の実施、口座振替の推進、納付環境の整備等を今後も継続していき、収納率向上に取り組む。			
32	2-8	後期高齢者医療保険料の現年度収納率(%)	◎ 100.2%	後期高齢者医療制度の円滑な運営を図るには、保険料を納めてもらう必要があるため指標に設定。景気動向等により目標値を設定することは困難であるが、広域連合から示されている数値の維持を目標値と設定。	保険年金課	基準値(H29) 99.45 % 中間値(R6) 99.45 % 目標値(R12) 99.45 %	99.63 %	99.62 %	99.64 %	無	個別訪問については、件数を増やして実施。個々の事情を勘案しながら納付計画の相談に乗る等、保険料の納付に結び付ける対策を取った。今後も、個別訪問や電話勧奨等を行いつつ、普通徴収の口座振替勧奨などを含め、納付に結び付ける対策を取り、収納率向上に取り組む。			
33	2-8	介護保険料収納率(%)	◎ 108.6%	介護保険制度の円滑な運営を図るには、保険料を納めてもらう必要があるため指標に設定。介護保険制度についての普及啓発に努める。	介護長寿課	基準値(H29) 99.15 % 中間値(R6) 99.40 % 目標値(R12) 99.50 %	99.49 %	99.44 %	99.53 %	無	督促、催告書の送付や電話による納付勧奨及び、定期的に訪問している滞納者へのアプローチを継続し取組んだ。滞納整理を実施し個別に納付計画相談を行った。普通徴収者への口座振替の推進、納付環境の整備等についても引き続き進めていく。			

# ○名取市第六次長期総合計画の進捗状況について

## 分野目標③ 産業振興・就労分野

【R4末時点の指標達成状況】 ◎・・・目標値達成 ○・・・中間値以上 △・・・基準値以上 ▲・・・基準値未達

### 【産業振興・就労分野における方向性・目標】

各種産業の生産・経営基盤の強化支援を図りつつ、多様な連携による新しい価値の創出やブランド力の強化、立地優位性を生かした企業誘致、起業支援等を進めるとともに、AIやIoT等の先端技術の活用支援や観光誘客など時代潮流に対応した取り組みを推進し、競争力の高い産業の育成と雇用の創出を図ります。  
また、鉄道や高速道路、空港等の交通基盤や豊かな自然環境、有形無形の文化財等の地域資源のさらなる活用とその魅力の効果的な発信を図り、観

＜各項目の実績値の表記について＞  
R4の欄に当該年度終了時点での実績値を記載。  
※指標名が【累計】の場合...2段書きで記載  
上段：当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)  
下段()書き:当該年度(単年度)の実績値

NO.	分野	指標名	達成状況(進捗率)	指標設定の考え方	担当課	進捗管理				新型コロナウイルスの影響	進捗状況及び今後の取組方針について(令和4年度末の状況)	(新型コロナウイルスの影響が【有】とした場合)指標とは代わる別の取組み状況等
						成果指標	R2	R3	R4			
34	3-1	認定農業者数(経営体) 【累計】	▲ -25.9%	認定農業者を指標として設定し、農業従事者を確保する施策を展開していく。(基準値は平成30年度末)	農林水産課	基準値(H30)	153 経営体	138 経営体 (△15)	126 経営体 (△12)	146 経営体 (20)	無	農地委託等により認定農業者の未更新による減もあるが、新規で認定農業者になった人が増えたことにより、認定農業者数は増加した。今後の農業施策及び「認定新規就農者から認定農業者への切替者」数の増加を視野に入れた経営体支援策を推進する。
						中間値(R6)	179 経営体					
						目標値(R12)	180 経営体	(進捗率) -55.6%	(進捗率) -100.0%	(進捗率) -25.9%		
35	3-1	担い手への農地の集積面積(ha)	◎ 237.0%	担い手が耕作している農地(自作、賃貸借、作業委託)の面積合計を指標として設定。(基準値は平成30年度末)	農林水産課	基準値(H30)	1,565 ha	1,597 ha	1,666 ha	1,885 ha	無	リタイア、経営転換等が増加傾向にあり、地域の担い手への集積は、進むものと考えられる。今後、作業の効率化を図る取り組みや担い手・経営体の育成支援策を進める。
						中間値(R6)	1,630 ha					
						目標値(R12)	1,700 ha	(進捗率) 23.7%	(進捗率) 74.8%	(進捗率) 237.0%		
36	3-1	ほ場整備率(%)	○ 50.0%	市内の田を30ha区画以上で整備した割合を指標として設定。	農林水産課	基準値(H29)	77 %	78 %	78 %	79 %	無	震災復興に係る大区画ほ場整備事業の換地処分も令和4年度で終了し、今後、新規のほ場整備実施予定区域が2か所あることから整備割合も増加するものと判断する。
						中間値(R6)	79 %					
						目標値(R12)	81 %	(進捗率) 25.0%	(進捗率) 25.0%	(進捗率) 50.0%		
37	3-1	農業法人(法人数)【累計】	◎ 500.0%	組織体制の強化を課題としてあげていることから、指標として設定し、安定的で収益性の高い農業経営を支援及び担い手の確保をできる施策を展開していく。(基準値は平成30年度末)	農林水産課	基準値(H30)	10 法人	12 法人 (2)	17 法人 (5)	20 法人 (3)	無	複数の認定農業者が組織化する状況や一戸一人(家族経営等)化、そして新規法人が農業へ参入する状況が今後も増加していくものと判断する。
						中間値(R6)	11 法人					
						目標値(R12)	12 法人	(進捗率) 100.0%	(進捗率) 350.0%	(進捗率) 500.0%		
38	3-2	林業就業者数(人)【累計】	▲ 0.0%	適正に管理されていない森林の適正な管理を市で行うようなり、林業に従事する方々を増やしていきたいと考えていることから、指標に設定。林業就業者については、4年に一回の農林業センサスのみで把握が可能。基準値はH27の農林業センサスとしている。	農林水産課	基準値(H27)	6 人	6 人 (0)	6 人 (0)	6 人 (0)	無	就業に繋がるよう、宮城県等が実施する就業支援制度等の情報収集を行う。
						中間値(R6)	7 人					
						目標値(R12)	8 人	(進捗率) 0.0%	(進捗率) 0.0%	(進捗率) 0.0%		
39	3-3	閉上漁港水揚高(t)	▲ 35.3%	1年間の水揚高の総数量を指標とする。県統計においては暦年となっているためあわせることとする。現状としては、試験養殖をしているわかめくらいしかないので、最終目標としては、わかめ分を約30%増と見込み250tとした。	農林水産課	基準値(H29)	182 t	201 t	129 t	206 t	無	令和4年は水揚高206トンの内しらすの水揚高が過去最高となる140トンあったが、赤貝は貝毒の長期化により令和3年の約半分の21.5トンに減少した。わかめについては、閉上わかめ組合から収益につながらないため事業中止決定したとのことから、新たな魚種の漁獲等について情報収集を行う。
						中間値(R6)	220 t					
						目標値(R12)	250 t	(進捗率) 27.9%	(進捗率) -77.9%	(進捗率) 35.3%		
40	3-4	製造品出荷額(年額)(億円)	▲ 36.3%	地域経済の活性化を計る上では、売上額をもって判断するのが妥当であり、製造品出荷額がそれに相当するものであるため指標に設定した。基準値はH29工業統計調査(市町村別より)	商工観光課	基準値(H29)	897 億円	942 億円	942 億円	962 億円	無	新型コロナウイルス感染症の影響や、原油価格や物価の高騰、ウクライナ情勢の影響により減少が懸念されるが、名取市商工会と連携し各種支援施策の周知に努める。
						中間値(R6)	986 億円					
						目標値(R12)	1,076 億円	(進捗率) 25.1%	(進捗率) 25.1%	(進捗率) 36.3%		
41	3-4	新製品の開発件数(件) 【累計】	▲ 7.7%	基準値は地方創生総合戦略の進捗状況に合わせた。毎年1件の新商品開発を見込み算出している。	商工観光課	基準値(H29)	7 件	8 件 (1)	8 件 (0)	8 件 (0)	無	令和3・4年度は各2件の産学官連携申請があったが、商品開発を目指したものではなかったため、0件とした。今後も、教育機関及び企業への呼びかけや産学のマッチングも検討する。
						中間値(R6)	14 件					
						目標値(R12)	20 件	(進捗率) 7.7%	(進捗率) 7.7%	(進捗率) 7.7%		
42	3-5	観光客入込数(人)	◎ 109.9%	かわまちでらす閉上、トレイルセンター、サイクルスポーツセンターの想定実績を加味して推計している。	商工観光課	基準値(H29)	833,556 人	1,165,700 人	1,278,999 人	1,456,324 人	有	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響下ではあるが、名取市震災復興伝承館や名取トレイルセンターの来客数が大幅に増加し、アフターコロナに向け観光客の増加が期待できる。引き続き目標達成に向けて観光施策を展開する。
						中間値(R6)	1,320,000 人					
						目標値(R12)	1,400,000 人	(進捗率) 58.6%	(進捗率) 78.6%	(進捗率) 109.9%		
43	3-6	新規の起業件数(件) 【累計】	○ 69.2%	働く場の創出を重点政策に掲げていることから、チャレンジショップやその他の制度の活用による新規起業数を指標に設定。目標については、チャレンジショップ事業が毎年1件活用されると想定し算出している。	商工観光課	基準値(H29)	1 件	7 件 (2)	7 件 (0)	10 件 (3)	無	令和4年度はチャレンジショップ事業及び空き店舗活用支援事業で新規の相談があり、チャレンジショップ事業3件、空き店舗活用支援事業1件の活用があった。今後も名取市商工会と連携し周知に努める。
						中間値(R6)	8 件					
						目標値(R12)	14 件	(進捗率) 46.2%	(進捗率) 46.2%	(進捗率) 69.2%		
44	3-6	企業立地件数(名取市企業立地促進条例に基づく指定企業許可件数)(件)【累計】	○ 56.3%	市内への企業立地が進むことで、地域雇用が確保され、市内への居住者も増加し、地域経済の活性化につながるため指標に設定した。	商工観光課	基準値(H29)	33 件	37 件 (2)	40 件 (3)	42 件 (2)	無	閉上東地区の誘致が堅調であるほか、今後、愛島西部工業団地(第2期)の造成・誘致も本格的になり、中間値に達することができた。引き続き目標値に達するよう地域雇用につながる企業の誘致に努める。
						中間値(R6)	41 件					
						目標値(R12)	49 件	(進捗率) 25.0%	(進捗率) 43.8%	(進捗率) 56.3%		
45	3-7	立地企業の被雇用者数(人) 【累計】	◎ 137.4%	市内への企業立地が進むことで、地域雇用が確保され、市内への居住者も増加し、地域経済の活性化につながるため指標に設定した。H20基準値からH29基準値の増加数の5%程度の伸び率で算出。	商工観光課	基準値(H29)	1,454 人	1,874 人 (420)	2,196 人 (322)	2,196 人 (0)	無	令和3年度調査時の数値で既に目標値に達しているが、引き続き地域雇用につながる企業の誘致に努める。
						中間値(R6)	1,724 人					
						目標値(R12)	1,994 人	(進捗率) 77.8%	(進捗率) 137.4%	(進捗率) 137.4%		

# ○名取市第六次長期総合計画の進捗状況について

## 分野目標④ 教育・文化・スポーツ分野

【R4末時点の指標達成状況】 ◎・・・目標値達成 ○・・・中間値以上 △・・・基準値以上 ▲・・・基準値未満

### 【教育・文化・スポーツ分野における方向性・目標】

質の高い学校教育の推進はもとより、地域資源を活用し、時代の変化に対応した特色ある教育の推進や、家庭・地域における教育力の向上及び多様な主体の連携による教育体制の強化を図り、子どもたちの「生きる力」を育み、次代を担い、活躍する人材を育てます。  
 また、市民一人ひとりの興味、関心に応じた生涯学習及び文化芸術、スポーツ活動の振興に取り組むとともに、地域に伝わる伝統文化の継承や貴重な文化財の保存・活用を図り、歴史文化が息づくまちづくりを推進します。  
 ※「生きる力」・・・変化の激しい社会を生きるために必要な「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」を指す。学習指導要領において、この知・徳・体をバランスよく育てることが「生きる力」になっている。

＜各項目の実績値の表記について＞  
**R4の欄に当該年度終了時点での実績値を記載。**  
 ※指標名が【累計】の場合...2段書きで記載  
 上段：当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)  
 下段()書き:当該年度(単年度)の実績値

NO.	分野	指標名	達成状況(進捗率)	指標設定の考え方	担当課	進捗管理			新型コロナウイルスの影響	進捗状況及び今後の取組方針について(令和4年度末の状況)	(新型コロナウイルスの影響が【有】とした場合)指標とは代わる別の取組み状況等				
						成果指標	R2	R3				R4			
46	4-1	国語・算数の授業内容がよく分かると答えた児童の割合(小学6年生)(%)	▲ -172.1%	全国学力・学習状況調査の児童自らが答える質問事項において、よく分かると答えた児童の割合を指標とする。 【H30実績】国語:87.4%、算数86.3%の平均を基準値に設定。令和12年度までに5%増を目指す。中間年度は、2%増で算出。	学校教育課	基準値(H29)	86.9%	中止	85.4%	79.5%	有	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、学習活動には制限をかける必要はない状況が続いた。中間値の88.60%の達成を目指し、基礎・基本の定着に努めるとともに、児童が分かる授業づくりのために校内研究に注力する。			
						中間値(R6)	88.6%						(進捗率) -34.9%	(進捗率) -172.1%	
						目標値(R12)	91.2%								
47	4-1	国語・数学・英語の授業内容がよく分かると答えた児童の割合(中学3年生)(%)	△ 13.5%	全国学力・学習状況調査の生徒自らが答える質問事項において、よく分かると答えた生徒の割合を指標とする。 【H30実績】国語:79.6%、数学:72.1%、英語:68.2%の平均を基準値に設定。令和12年度までに5%増を目指す。中間年度は、2%増で算出。	学校教育課	基準値(H29)	73.3%	中止	75.9%	73.8%	有	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、学習活動には制限をかける必要はない状況が続いた。中間値の74.80%の達成を目指し、基礎・基本の定着に努めるとともに、児童が分かる授業づくりのために校内研究に注力する。			
						中間値(R6)	74.8%						(進捗率) 70.3%	(進捗率) 13.5%	
						目標値(R12)	77.0%								
48	4-2	校舎等大規模改造実施学校(校)【累計】	△ 28.6%	老朽化した校舎等の大規模改造の実施した校数を指標とした。	教育総務課	基準値(H29)	7校	8 (1)校	8 (0)校	9 (1)校	有	令和3年度に着工した第一中学校の大規模改造工事について、新型コロナウイルス感染症の影響により資材調達に遅れが生じたことから、令和4年度も引き続き取り組んだが、年度末に完了した。今後は名取市学校施設長寿命化計画に基づき、不二が丘小学校の大規模改造工事に取り組む。(R5~R6)			
						中間値(R6)	10校						(進捗率) 14.3%	(進捗率) 14.3%	(進捗率) 28.6%
						目標値(R12)	14校								
49	4-2	学校教育環境の充実に関する市民の満足度(%)	— —	満足度を指標とすることで、学校教育環境の施策全体での評価が見えるため指標として設定。基準値は、平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。目標値については、小幅な変化になることを想定し、30%と設定した。中間値はその中間で設定。	学校教育課	基準値(H29)	27.4%	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。			無	次年度以降、まずは中間値である28.70%を目標に各学校にて教育活動に取り組む。			
						中間値(R6)	28.7%								
						目標値(R12)	30.0%								
50	4-3	地域学校協働活動への参画者数(人)	△ 48.2%	各小・中学校区に地域学校協働本部を設置し、地域学校協働活動を推進していく。モデル事業において1本部につき100人程度の登録であったため、中間年度は1,500人、最終目標としてはその1.5倍増の2,250人とした。	生涯学習課	基準値(H29)	—人	424人	1,016人	1,084人	有	全15学区の協働本部に業務を委託し、各地域で協働活動を実施。コロナ禍につき、学校や地域行事の中止により、多くの活動が中止となった。市として広報等で毎月の活動を市民に継続して広報し、より多くの市民の参画を得られるよう後方支援を推進する。			
						中間値(R6)	1,500人						(進捗率) 18.8%	(進捗率) 45.2%	(進捗率) 48.2%
						目標値(R12)	2,250人								
51	4-4	市民一人当たりの貸出冊数(冊)	◎ 120.0%	図書館の利用状況を評価するために一般的に用いられる指標は「貸出冊数」である。人口当たり換算して設定。基準値は、個人貸出冊数309,587冊÷78,299人(3月末人口)÷4冊。	生涯学習課	基準値(H29)	4冊	5.7冊	6.4冊	6.4冊	無	市民一人当たりの貸出冊数は、個人貸出冊数506,435冊÷名取市人口79,519人=6.4冊であった。来館者数は増えていることから、引き続き市民のニーズに沿った多様な学習情報の提供に取り組む。			
						中間値(R6)	5.8冊						(進捗率) 85.0%	(進捗率) 120.0%	(進捗率) 120.0%
						目標値(R12)	6冊								
52	4-4	マナビィ講師等派遣数(回)	△ 45.7%	学習機会の拡充と支援を計る上で、マナビィ講師等の派遣数が適していることから、第五次長総に引き続き成果指標に設定する。基準値が156回(出前講座105回+マナビィ講師派遣51回)最終目標としては、基準値の50%増を目標に設定。中間目標はその半分で設定。	生涯学習課	基準値(H29)	156回	82回	162回	199回	有	令和2年度の実施回数がコロナ禍の影響により大幅に減少したことを受け、令和3年度、マナビィ講師派遣事業のPR冊子を刷新し、「マナビィガイドブック」を発行。令和4年度も様々な機会に積極的な冊子配布等のPRにより、広く市民に周知を実施した。引き続き、「マナビィガイドブック」及び「マナビィ通信」の発行により、事業のPR拡大に取り組む。			
						中間値(R6)	200回						(進捗率) -78.7%	(進捗率) 6.4%	(進捗率) 45.7%
						目標値(R12)	250回								
53	4-4	生涯学習経験者の割合(%)	— —	生涯振興計画と同様の指標を設定。基準値は生涯学習振興計画策定にあたり実施した市民意識調査の結果とした。最終目標を基準値の10%増とし、中間目標はその半分で設定した。	生涯学習課	基準値(H29)	64.5%	生涯学習振興計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。			無	「マナビィガイドブック」の作成及び「マナビィ通信」の発行により、事業のPRを行うとともに、生涯学習に取り組むきっかけ作りとなるよう取組を実施している。子どもから高齢者まで多くの市民の参加による「なとりまなびフェスティバル」の開催(令和5年3月18日、約750名参加)により、事業のPR啓発に努め、新たに生涯学習に取り組むきっかけ作りを実施した。次年度のイベント開催時は、さらに子どもが参加しやすいような魅力ある企画を検討する。			
						中間値(R6)	67.0%								
						目標値(R12)	70.0%								
54	4-5	社会体育事業の対象者及び参加者数(人)	▲ -83.7%	参加者数でスポーツの振興及び普及が図られたと捉えることができるため指標とした。年間200人の増加と見込み指標を設定した。	文化・スポーツ課	基準値(H29)	9,414人	5,537人	4,806人	7,249人	有	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、密回避等の理由により、ニュースポーツの普及が進まず、スポーツ振興が停滞した。各事業では、道具の消毒や競技中の接触を減らす等、スポーツ庁等の示すガイドライン遵守に努め、感染拡大防止に努めるとともに、多くの市民がスポーツに触れることができるよう環境整備を推進する。			
						中間値(R6)	11,000人						(進捗率) -149.9%	(進捗率) -178.2%	(進捗率) -83.7%
						目標値(R12)	12,000人								

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標			進捗管理			新型コロナウイルスの影響	進捗状況及び今後の取組方針について (令和4年度末の状況)	(新型コロナウイルスの影響が【有】とした場合) 指標とは代わる別の取組み状況等
						基準値(H29)	中間値(R6)	目標値(R12)	R2	R3	R4			
55	4-5	体育施設利用者数(人)	▲ 16.5%	体育施設利用者数でスポーツの振興及び普及が図られたと捉えることができるため指標とした。年間3,000人の増加と見込み指標を設定した。	文化・スポーツ課	基準値(H29) 416,557人	中間値(R6) 440,000人	目標値(R12) 455,000人	260,707人 (進捗率) -405.4%	344,562人 (進捗率) -187.3%	422,909人 (進捗率) 16.5%	有	令和4年度の体育施設利用者数は422,909名で、内33,421名は増田体育館でのワクチン接種利用者数を含めてであるが、実質的な利用者数は3年度より増加している。令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したが、今後も感染防止対策を行いながら利用者増を目指す。	各体育施設において、手指の消毒や手洗いの徹底、接触を減らすための啓発を行い、新型コロナウイルス感染症の感染予防・感染拡大防止に努めた。
56	4-5	スポーツ環境の充実に関する市民の満足度(%)	— —	満足度を指標とすることで、スポーツ分野の施策全体での評価が見えるため指標として設定した。基準値は平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	文化・スポーツ課	基準値(H29) 15.3%	中間値(R6) 20.0%	目標値(R12) 22.0%	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。			有	スポーツ協会とも連携を図りながら、スポーツ教室等を引き続き実施し、市民がスポーツに触れる機会やスポーツを通じて健康づくり、コミュニティ活動の活性化を図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策・予防策を徹底し、市民が安全・安心にスポーツに触れ親しむことができる環境を提供することで、市民満足度の向上に努めた。
57	4-5	体育協会加盟者数(人)【累計】 ※協会名称変更有名取市体育協会→名取市スポーツ協会	▲ 20.8%	体育協会加盟者数でスポーツ振興及び普及が図られたと捉えることができるため指標とした。年間100人の増加と見込み指標を設定した。	文化・スポーツ課	基準値(H29) 5,072人	中間値(R6) 5,600人	目標値(R12) 6,100人	5,681(50)人 (進捗率) 59.2%	5,502(△179)人 (進捗率) 41.8%	5,286(△216)人 (進捗率) 20.8%	有	令和4年も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、前年比で減少している。要因としては、新規の協会加入団体が無いこと及び、既存の協会の高齢化や、それに伴う脱会があげられる。今後は、スポーツ協会を通じ各単位協会への活動を支援し、会員の拡充に努める。	スポーツの活動において、手指の消毒や手洗いの徹底、施設内入口の検温器の設置、スポーツ用具やドアノブの消毒、室内の換気を行い、新型コロナウイルス感染症の感染予防・感染拡大防止に努めた。
58	4-6	文化協会加入団体数(団体)【累計】	▲ -60.0%	基準値は市民意識調査の「満足している」「どちらかといえば満足している」の割合とし、目標値として50%とする。中間値は、基準値と目標値の中間を指標と設定した。	文化・スポーツ課	基準値(H29) 35団体	中間値(R6) 40団体	目標値(R12) 45団体	32(△1)団体 (進捗率) -30.0%	29(△3)団体 (進捗率) -60.0%	29(0)団体 (進捗率) -60.0%	無	令和4年度においては、2団体の新規加入があったが、会員の高齢化等を理由に2団体が退会となり、結果として前年度比増減なしとなった。協会への加入促進について、広報や市HPに掲載するほか、各公民館にも協会の活動や加入を案内する冊子を配布するなど積極的な周知を行うことで団体数の確保に努めるとともに、本市の文化・芸術の裾野を広げるため、「なとり文化芸術祭」の開催など日頃の成果を発表する機会の提供に努める。	
59	4-6	文化会館自主事業入場者数(人)	◎ 416.1%	文化会館自主事業入場者数で文化の振興及び普及が図られたと捉えることができるため指標とした。あくまで、主催・共催事業の入場者のみ掲載する。	文化・スポーツ課	基準値(H29) 29,850人	中間値(R6) 30,000人	目標値(R12) 31,000人	6,105人 (進捗率) -2064.8%	16,691人 (進捗率) -1144.3%	34,635人 (進捗率) 416.1%	無	令和4年度は、感染症対策を徹底のうえ事業を行う習慣が浸透したことに加え、文化会館開館25周年として記念事業も多く実施したことから入場者数が増加した。今後も文化芸術に触れる機会の創出に努める。	
60	4-6	文化・芸術環境の充実に関する市民の満足度(%)	— —	満足度を指標とすることで、文化振興分野の施策全体での評価が見えるため指標として設定した。基準値は平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	文化・スポーツ課	基準値(H29) 18.8%	中間値(R6) 20.0%	目標値(R12) 21.0%	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。			無	令和4年度は、感染症対策を徹底のうえ事業を行う習慣が浸透してきたと捉えている。引き続き、文化会館を拠点に、今後も市民が文化芸術活動に取り組める環境づくりに努める。	
61	4-7	指定(登録)文化財の件数(件)【累計】	▲ 0.0%	指定・登録文化財は歴史文化遺産の保存・継承の基本的な施策であり、その件数の拡充は定量的な把握が可能であるため指標とした。中間では基準値の5%増、最終では基準値の10%増とした。	文化・スポーツ課	基準値(H29) 56件	中間値(R6) 59件	目標値(R12) 62件	56(0)件 (進捗率) 0.0%	56(0)件 (進捗率) 0.0%	56(0)件 (進捗率) 0.0%	無	令和4年度では、具体的な指定・登録された物件は無いが、調査や情報収集に基づき候補物件(2件)について、文化財保護審議会にて審議中である。また、市所有の資料の内、有形文化財(歴史資料関係)のデータベース作成に向けた整理や、市史編さん事業と連携した調査を行っており、今後も、候補選定や情報収集に努める。	
62	4-7	文化財資料等を活用した人数及び事業への参加者数(人)	▲ -520.6%	資料閲覧・借出者数+施設利用者数+文化財案内等の事業参加者数とする。基準値は1,672人-歴史展来場者数1,042人を引いた人数と設定し、中間では基準値の5%、最終は10%増とした。	文化・スポーツ課	基準値(H29) 630人	中間値(R6) 662人	目標値(R12) 693人	339人 (進捗率) -461.9%	174人 (進捗率) -723.8%	302人 (進捗率) -520.6%	無	令和4年度の実績は、資料調査・利用等が計7人、(資料館を除く)施設利用者数が295人の計302人であった。施設利用では、4月～11月の延123日間の実施を予定していた旧中沢家住宅の一般開放日数が、R4年3月などの地震による災害復旧工事のため、8月までの77日間に短縮した関係で実績値は前年度と同様に大きく下回った。令和5年度は、例年どおり4月～11月の一般開放を予定しており、積極的な活用促進に努めていく。	
63	4-7	歴史文化遺産の保護に関する市民の満足度(%)	— —	満足度を指標とすることで、歴史文化遺産の施策全体での評価が見えるため指標として設定した。基準値は平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	文化・スポーツ課	基準値(H29) 15.6%	中間値(R6) 16.4%	目標値(R12) 17.2%	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。			無	令和4年度には、文化財保護の拠点施設として歴史民俗資料館での常設的な展示や、各種講座、学習活動、体験学習、イベント等のほか、市内小学6年生を対象とした訪問学習等も実施し、市民満足度の向上に努めた。R5年度は、令和3年度から進めていた文化財保護の総合的な計画「文化財保存活用地域計画」の原案が昨年度に完成したため、国へ提出して認定を受ける予定である。認定後には広く周知し、確かな保存・活用の推進を図り、市民満足度の向上に繋げていく。	
64	4-7	歴史民俗資料館の利用者数(人)	▲ 39.3%	歴史文化遺産の保存・活用の拠点として整備を行う施設であり、その利用者数の多寡が総合的な満足度へ反映されていくと想定し指標とした。	文化・スポーツ課	基準値(H29) —人	中間値(R6) 21,420人	目標値(R12) 22,440人	7,591人 (進捗率) 33.8%	7,671人 (進捗率) 34.2%	8,818人 (進捗率) 39.3%	無	開館した令和2年度や、令和3年度は、コロナウイルス感染症の影響が大きく、臨時休館などの期間もあり、来館者数は目標値を大きく下回った。令和4年度は、開館以来はじめて通年の活動が実施できたものの大きく増やすことは出来なかったが、企画展や各種イベントや体験・学習活動を、ボランティア等とも協力しながら実施し、昨年度の利用者数は上回ることが出来た。今後も、様々な工夫を行い、市民等の参加協力を得ながら、積極的な活用促進に努め利用者の増加に努める。	
65	4-7	歴史や文化財に関するボランティアガイド数(人)	○ 93.3%	歴史文化遺産の保存・活用の満足度の向上のためには、市民参加や地域との連携が重要である。H30よりその育成をしていることから指標として設定した。中間においては基準値の10%、最終では10%増とした。	文化・スポーツ課	基準値(H29) —人	中間値(R6) 27人	目標値(R12) 30人	19人 (進捗率) 63.3%	25人 (進捗率) 83.3%	28人 (進捗率) 93.3%	無	開館前から募集・研修を継続してきたボランティアは、令和3年度の当初は19名であったが、新たに募集を行い、現在では28名の方が登録し活動している。R3年度には、自主組織を設立し、コロナの影響も少なかった昨年度は、初めて年間を通じた活動が実施できた他、ボランティア会の自主企画にも取り組めた。令和5年度も、より充実を図るための新規募集や研修講座等を行う予定で、昨年度からの継続や新規の自主企画等の実施も計画しており、さらに活動が充実するよう進めていく。	

# ○名取市第六次長期総合計画の進捗状況について

## 分野目標⑤ 生活環境・都市基盤分野

【R4末時点の指標達成状況】◎・・・目標値達成 ○・・・中間値以上 △・・・基準値以上 ▲・・・基準値未満

### 【生活環境・都市基盤分野における方向性・目標】

環境保全活動の推進や環境負荷の低減を図ることで、本市の豊かで美しい自然環境や生物多様性の保全に努めるとともに、環境教育や観光・レクリエーション活動など自然環境を活用した取り組みを推進し、自然と調和したまちづくりを推進します。  
また、道路や橋梁、上下水道といった社会インフラの整備・長寿命化や公共交通の充実を図り、安全・安心な生活環境の整備を推進するとともに、鉄道や高速道路、仙台空港等の交通網をさらに充実させることで賑わいのあるまちづくりを推進します。  
さらに、人口構造の変化等に対応したコンパクトで効率的な都市空間の整備を促進します。

＜各項目の実績値の表記について＞  
**R4の欄に当該年度終了時点での実績値を記載。**  
※指標名が【累計】の場合...2段書きで記載  
上段：当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)  
下段()書き:当該年度(単年度)の実績値

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標	進捗管理			新型コロナウイルスの影響	進捗状況及び今後の取組方針について (令和4年度末の状況)	(新型コロナウイルスの影響が【有】とした場合) 指標とは代わる別の取組み状況等
							R2	R3	R4			
66	5-1	自然とふれあえるイベントの参加者数(%)	◎ 133.5%	自然観察会や自然観察イベントへの参加を通して自然環境に興味を持つ市民を捉えることにつながるため指標とした。 中間値で基準値の10%増、目標値では基準値の20%増を目指す。	クリーン対策課	基準値(H29)	100%	86.7%	166.7%	126.7%	無	令和4年度においては、予定どおり4件の観察会を実施した。 全体のイベント参加者数は57名となり、基準年度である平成29年度(45名)との比較では126.7%となった。 令和5年度も4件の観察会の実施を予定している。
						中間値(R6)	110%					
						目標値(R12)	120%					
67	5-1	自然保護に関する市民の満足度(%)	— —	満足度を指標とすることで、自然環境の施策全体での評価が見えるため指標として設定した。 基準値は平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	クリーン対策課	基準値(H29)	29.1%	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。			無	観察会などを通じ、市の自然環境の状態の把握に努めており、令和3、4年度はトレイルセンターの植樹を行い、緑化事業を実施した。令和5年度以降は、野営場に植樹した木々の生育と保全に努める。
						中間値(R6)	31.6%					
						目標値(R12)	34.1%					
68	5-2	市関連施設からの温室効果ガス排出量(t)	▲ -38.8%	地球温暖化防止の観点から「名取市温室効果ガスの排出の抑制等のための実効計画」において、市関連施設からの温室効果ガスの排出量を策定し、その削減を目標とする。	クリーン対策課	基準値(H29)	6,383 t	5,984 t	6,826 t	6,652 t	無	新型コロナウイルス感染症による影響に変化が見られなかった状況の中、CO2排出係数の相違により、令和4年度は令和3年度と比較し、二酸化炭素排出量が2.5%減少した。
						中間値(R6)	6,026 t					
						目標値(R12)	5,689 t					
69	5-2	1人1日当たりのごみの排出量(g)	△ 22.2%	ごみの減量化と資源循環型社会形成の観点から、ごみ排出量の削減目標を設定している。岩沼東部環境センターに搬入されるごみのうち「もえるごみ」「有害危険ごみ」「粗大ごみ」の合計を人口で除した数値とする。 1人1日当たり2gの減少を目標とする。	クリーン対策課	基準値(H29)	767 g	770 g	774 g	761 g	無	令和4年度の1人1日当たりのごみ量は761gとなり、前年度の774gを13g下回った(1.68%減)。ごみ処理全体の搬入量が減少したほか、資源物の搬入量が増加したことが要因と捉えている。
						中間値(R6)	750 g					
						目標値(R12)	740 g					
70	5-2	家庭用使用済み天ぷら油(植物性廃食油)の回収量(ℓ)	▲ -8.6%	ごみの減量化と資源循環型社会形成の観点から、天ぷら油の回収目標を設定している。回収した油は、BDFに精製し、事業者のトラックやバスの燃料として再利用している。	クリーン対策課	基準値(H29)	13,383 ℓ	14,834 ℓ	14,297 ℓ	12,541 ℓ	無	令和4年度の回収量は12,541ℓとなり、前年度の14,297ℓから12.3%ほど減少した。 食用油の価格が令和3年度から複数回値上げされたことが影響しており、2年連続して前年度の回収実績を下回った。
						中間値(R6)	18,633 ℓ					
						目標値(R12)	23,133 ℓ					
71	5-3	公害防止などの環境保全に関する市民の満足度(%)	— —	数値で表すことが困難な施策内容であることから、満足度を成果指標に設定する。 基準値は、平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	クリーン対策課	基準値(H29)	29.1%	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。			無	公害等の情報があれば、現場確認を行い、公害等の発生元が判明する場合は、発生元に対し注意喚起等を行う。
						中間値(R6)	31.6%					
						目標値(R12)	34.1%					
72	5-4	中心市街地における居住人口(人)【累計】	◎ 101.7%	中心市街地の利便性や魅力的な空間を享受できるような居住空間の設定を引き続き第六次長総においても継続する。 田高町西第1、田高町東第1、北町1、北町2、本町1、本町2、北町3、村区の行政区の合計を居住人口と設定した。	都市開発課	基準値(H29)	4,929 人	5,018 (65) 人	5,055 (37) 人	5,103 (48) 人	無	名取まちづくり株式会社とともに中心市街地の活性化のための施策について検討してきた。令和3年度～令和4年度においては名取駅東地区にぎわい再生計画を策定し、より利便性が高く魅力的な居住空間となる様な施策の検討を行う。
						中間値(R6)	5,000 人					
						目標値(R12)	5,100 人					
73	5-4	防災広場を活用したイベントの参加人数(人)	▲ -75.0%	中心市街地の賑わい創出に向けた施策を展開する上での指標として設定する。 などポップ、ぶちぶちファーム、神社deバザール、地元町内会夏祭り(ふれあい夕涼み)、光のストリートアート展の参加人数を想定している。	都市開発課	基準値(H29)	1,300 人	960 人	800 人	1,000 人	有	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、例年実施している夏祭り等は中止したが、他イベントを計10回開催し、市街地の賑わい創出を図った。
						中間値(R6)	1,500 人					
						目標値(R12)	1,700 人					
74	5-4	空き家の利活用(戸)【累計】	△ 9.1%	空き家調査の実施により、市としての空き家数を把握し、その利活用数を指標とする。 H27調査における迷惑空き家31戸年間1戸ずつの利活用を目指すもの。	などりの魅力創生課	基準値(H29)	— 戸	0 戸	0 戸	1 戸	無	令和3年度「空き家対策協議会」設立と共に「空き家対策計画」を策定。 令和4年度は「空き家バンク」や有効活用を促進するための補助金を創設し、起業支援タイプの活用が1件あった。 令和5年度は、空き家バンクの登録物件数を増加させる取り組みとして、空き家所有者に対して、制度の周知を行い、更なる有効活用の促進を図る。
						中間値(R6)	5 戸					
						目標値(R12)	11 戸					
75	5-5	市道改良率(%)	△ 32.2%	狭隘道路解消など生活道路の整備指標として適している。 R元年の道路整備事業費(単独)をベースとして未改良の要望路線の計画期間内での改良延長を算出し改良率に換算した。	土木課	基準値(H29)	81.0%	82.0%	83.3%	83.5%	無	令和4年度は、飯塚成田線などの継続事業等により、改良率は前年度末に対し0.2%上昇した。引き続き、現在事業中路線の早期完成を図る。
						中間値(R6)	85.2%					
						目標値(R12)	88.8%					

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	進捗管理			新型コロナウイルスの影響	進捗状況及び今後の取組方針について (令和4年度末の状況)	(新型コロナウイルスの影響が【有】とした場合) 指標とは代わる別の取組み状況等	
						成果指標	R2	R3				R4
76	5-5	市道舗装率(%)	▲ 47.1%	未舗装道路解消など生活道路の整備指標として適している。 未舗装路線のうち、道路改良又は舗装要望路線延長を抽出した。	土木課	基準値(H29)	95.3%	95.5%	95.7%	95.6%	無	令和4年度は高柳線などの舗装工事を行ったものの、改良工事に伴い舗装撤去を行った箇所があることから、舗装率が0.1%下がっている。令和5年度は、飯塚成田線、本村耕谷線などの舗装工事を予定しており、未舗装解消に向けて順調に推移している状況である。
						中間値(R6)	95.7%					
						目標値(R12)	96.0%					
77	5-5	都市計画道路の整備率(%)	○ 73.6%	幹線道路の整備指標として適している。 事業決定済み路線に加え、愛島東部線、館腰駅箱塚線を全線改良したときの整備率として算出した。	土木課	基準値(H29)	87.4%	91.2%	92.66%	92.70%	無	令和3年度に熊野堂柳生線、植松田高線が開通し、中間目標値を0.76%上回ったものの、その他の都市計画道路の整備の見通しが立たない状況のため、未事業化路線の事業実現性の精査を行いながら、事業化に向けた調整を図る。
						中間値(R6)	91.9%					
						目標値(R12)	94.6%					
78	5-5	歩道のバリアフリー整備延長(m)【累計】	▲ 29.9%	基準値は市民意識調査の「満足している」「どちらかといえば満足している」の割合とし、目標値として50%とする。中間値は、基準値と目標値の中間を指標と設定した。	土木課	基準値(H29)	3,800 m	4,361 (71) m	4,410 (49) m	4,410 (0) m	無	社会資本整備総合交付金を活用し、整備を実施しているが、令和4年度については、令和3年度で当該工区の歩道整備が完了し、車道舗装のみの実施であったため、バリアフリー整備延長の進捗はなかった。令和5年度も当該工区の車道舗装を実施し、令和6年度より、次の工区に移行し、バリアフリー化を進める。
						中間値(R6)	4,740 m					
						目標値(R12)	5,840 m					
79	5-5	JR館腰駅バリアフリー化	◎ 100.0%	JR館腰駅のバリアフリー化において、バリアフリー化が整備完了を最終目標とする。	政策企画課	基準値(H29)	未整備	未整備	工事着手	整備済	無	JR館腰駅のバリアフリー化については、国・JR・名取市が三位一体となり令和3年度より工事に着手し、令和5年3月10日に供用を開始した。 エレベーターを設置したことにより円滑に移動できる環境整備が図られ、地域住民及び駅利用者の安全性及び利便性向上につながった。
						中間値(R6)	整備済					
						目標値(R12)	整備済					
80	5-5	市が主体となって実施する新たな公共交通に関する市民満足度(%)	— —	基準値は、市民意識調査の「公共バスの充実」に関する満足度を設定している(「満足している」「どちらかといえば満足している」の合算)。中間値は、第六次長総において導入を予定している新たな公共交通体系を構築し、なとりん号と新たに導入する公共交通の満足度がどの程度高まったのか把握していく。	政策企画課 防災安全課	基準値(H29)	14.0%	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。			有	令和2・3年度において実施した「名取市公共交通体系調査検討業務」を踏まえ、なとりん号とデマンド交通を組み合わせた新たな交通体系の見直し案を作成した。 令和4年度においては、見直し案を踏まえた詳細検討を行い、その見直し内容について議員協議会及び地域住民への説明会を通じ、周知を行った。 令和5年10月より新たな交通体系による実証運行を開始する予定であるため、広報誌や市HP、住民説明会等を通じて、市民の皆様への理解を深めるとともに、不安を解消できるよう更なる周知及び公共交通の利用促進に務める。
						中間値(R6)	30.0%					
						目標値(R12)	50.0%					
81	5-5	市が主体となって実施する新たな公共交通の利用者数(人)	▲ 28.3%	基準値は、平成29年度なとりん号の乗車人数としている。中間値は、なとりん号と新たな公共交通の利用者をカウント、基準値よりも利用者の増加を目指していく。	政策企画課	基準値(H29)	401,649 人	376,816 人	405,127 人	437,119 人	有	上述のとおり。 なお、令和4年度実績は「なとりん号」のみの乗車実績であり、令和3年度より利用者数は回復はしているが、コロナ禍前の水準(R1:465,742人)までは回復していない。
						中間値(R6)	497,000 人					
						目標値(R12)	527,000 人					
82	5-6	仙台国際空港線が実施する出前講座・施設見学の名取市関係団体利用者数(人)	▲ -326.5%	空港が市民に親しまれる施設となるよう、仙台国際空港線が開催するイベント情報を市民への周知を行う施策を展開していくことから、指標として設定した。	都市開発課	基準値(H29)	619 人	0 人	0 人	28 人	有	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染予防・拡大防止のため、出前講座・施設見学が休止となった(下増田空対協・公民館主催の施設見学会1回実施)。 施設見学は令和5年度の再開が決定したため、休止となっている出前講座の再開に向け、仙台国際空港(株)と連携し、取り組む。
						中間値(R6)	700 人					
						目標値(R12)	800 人					
83	5-6	空港支援機能施設の誘致数(件)	▲ 0.0%	空港支援機能施設の誘致の実施主体である県へ働きかけていくことから成果指標に設定した。	都市開発課	基準値(H29)	— 件	0 件	0 件	0 件	無	令和2年度に「仙台空港の運用時間24時間化に関する覚書」を締結した。 今後は、空港支援機能施設の誘致について、地元地区と連携し、宮城県へ働きかけを行う。
						中間値(R6)	1 件					
						目標値(R12)	2 件					
84	5-7	上水道管路の更新率(%)	◎ 132.6%	H30までの耐震管路更新延長:104,662m 残非耐震管路延長:357,226m 年耐震管更新延長:年間1,786m ※1-2災害に強い防災基盤の整備と同様の指標。	水道事業所	基準値(H29)	22.7%	26.6%	28.2%	28.8%	無	災害に強い水道の実現と安全・安心で良質な水の安定供給に向けて、計画的に管路更新を実施してきた。その結果、令和4年度末の全管路耐震率は28.8%となった。引続き更新計画に基づき管路の耐震化を進める。
						中間値(R6)	25.0%					
						目標値(R12)	27.3%					
85	5-7	下水道の水洗化率(%)	○ 52.2%	行政人口における水洗化(公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽)人口の割合を示す。 令和元年7月末時点 行政人口:78,971人 水洗化人口:76,336人	下水道課	基準値(H29)	96.7%	97.3%	97.6%	97.9%	無	公共下水道事業及び農業集落排水事業の施設整備は終了しており、今後は未接続の世帯に早期接続の勧奨をしていく。また、合併処理浄化槽の地区においては、汲み取り式便所や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切替を勧奨し、水洗化を図る。
						中間値(R6)	97.8%					
						目標値(R12)	99.0%					
86	5-8	公園・緑地の整備に関する市民の満足度(%)	— —	地域住民のニーズに応じた公園づくりに対応するため。 基準値は、平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	都市計画課	基準値(H29)	34.2%	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。			無	公園施設及び緑地利用者の安心・安全な環境を保持するため、地区毎に必要な日常的な保全管理を行っており、市民の満足度が向上するよう継続して取り組む。
						中間値(R6)	35.0%					
						目標値(R12)	37.0%					

# ○名取市第六次長期総合計画の進捗状況について

【R4末時点の指標達成状況】 ◎・・・目標値達成 ○・・・中間値以上 △・・・基準値以上 ▲・・・基準値未満

## 分野目標⑥ 地域経営・行財政運営分野

### 【地域経営・行財政運営分野における方向性・目標】

若者や子育て世帯等にとって魅力的な環境の整備と効果的なシティプロモーションにより移住・定住を促進し、持続可能で活力のあるまちづくりを推進します。

また、コミュニティ活動の活性化を図りつつ、地域課題を共有しながら、市民協働によるまちづくりを推進するとともに、各分野における女性の参画の拡大等による男女共同参画意識の醸成に取り組み、多様な交流機会の創出や交流活動の促進を図り、多様性を認め合う共生社会の形成を目指します。

さらに、効率的・効果的な事務事業の実施や創意工夫による財源の確保、職員の資質・能力向上を図りつつ、まちづくりの方向性に合致した戦略的な投資を行うなど、限られた資源を有効活用した効果的な施策の推進を図ります。

<各項目の実績値の表記について>  
**R4の欄に当該年度終了時点での実績値を記載。**  
 ※指標名が【累計】の場合...2段書きで記載  
 上段：当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)  
 下段()書き:当該年度(単年度)の実績値

NO.	分野	指標名	達成状況(進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標	進捗管理			新型コロナウイルスの影響	進捗状況及び今後の取組方針について(令和4年度末の状況)	(新型コロナウイルスの影響が【有】とした場合)指標とは代わる別の取組み状況等
							R2	R3	R4			
87	6-1	ホームページアクセス件数(件/日)	◎ 305.4%	市政に関する関心度とホームページアクセス件数は相関関係にあることから第五次長総に引き続き指標とするもの。直近において、年間100万件的アクセスを120万件に増加させる 目標値:1,200,000件/365日≒3,300件/日 中間値:1,100,000件/365日≒3,000件/日	なとりの魅力創生課	基準値(H29) 2,800 件/日 中間値(R6) 3,000 件/日 目標値(R12) 3,300 件/日	6,200 件/日 (進捗率) 680.0%	5,740 件/日 (進捗率) 588.0%	4,327 件/日 (進捗率) 305.4%	無	新型コロナウイルス関連ページの閲覧数が前年度と比べ、減少したことに伴い、全体の閲覧件数も減少した。令和6年度のホームページリニューアルに向け、職員が市民目線で見やすいホームページを作成することができる仕様にすべく、各掲示物や通知文等にQRコードを入れ、ホームページで知りたい情報を簡単に探せる仕組みを作る。	
88	6-1	SNSフォロワー数(件)【累計】	◎ 130.0%	SNSを通じて本市のイベント等の情報発信をする上で、フォロワー数を指標として設定。仙台市15,505件、気仙沼市10,001件、岩沼市48件を除く県内10市の平均を指標に設定。	なとりの魅力創生課	基準値(H29) 450 件 中間値(R6) 900 件 目標値(R12) 1,400 件	765 (224) 件 (進捗率) 33.2%	927 (162) 件 (進捗率) 50.2%	1,685 (758) 件 (進捗率) 130.0%	無	令和4年度は新たなツールを追加し、フォロワー数の新規確保をすることができた。令和5年度は引き続き、既存のSNSの行政情報や市内の魅力情報等の発信を進め、フォロワー数の増加を図る。	
89	6-1	移住支援金支給世帯数(世帯)【累計】	△ 27.3%	移住支援金の支給世帯数は把握可能であるため。1年当たり1世帯で積算。	なとりの魅力創生課	基準値(H29) — 世帯 中間値(R6) 5 世帯 目標値(R12) 11 世帯	0 世帯(0) 世帯 (進捗率) 0.0%	0 世帯(0) 世帯 (進捗率) 0.0%	3 世帯(3) 世帯 (進捗率) 27.3%	無	令和4年度は移住支援金の対象範囲の拡大を図るため、自治体独自で設定できる関係人口要件として、市が参加する移住相談会等に相談した世帯を対象世帯にするため要件を改正し、移住希望者の掘り起こしを行った。令和5年度は関係人口の要件に合致する世帯が複数確認できているため、移住促進に向け、プロモーションや単独の移住相談会を開催するなど、本市を選択いただける取り組みを進めていく。	
90	6-2	市民公益活動団体数(団体)【累計】	○ 58.8%	団体数の増加は、市民の市民活動への参加意欲のほか、市民活動の広がりが把握できるため。	市民協働課	基準値(H29) 103 団体 中間値(R6) 110 団体 目標値(R12) 120 団体	113 (2) 団体 (進捗率) 58.8%	112 (△1) 団体 (進捗率) 52.9%	113 (1) 団体 (進捗率) 58.8%	無	令和4年度の新規団体登録は1団体(NPO法人1)となっているため、前年度と比較して1団体の増。	
91	6-2	市内のNPO法人数(法人)【累計】	◎ 100.0%	法人数の増加は、市民の市民活動への参加意欲のほか、市民活動の広がりが把握できるため。	市民協働課	基準値(H29) 17 法人 中間値(R6) 18 法人 目標値(R12) 20 法人	20 (2) 法人 (進捗率) 100.0%	19 (△1) 法人 (進捗率) 66.7%	20 (1) 法人 (進捗率) 100.0%	無	令和4年度の新規NPO法人登録は1団体となるため、前年度と比較して1団体増加。	
92	6-2	市民活動支援センター利用者数(人)	▲ -363.2%	利用者数を指標とすることにより市民活動の広がりが把握できるため。	市民協働課	基準値(H29) 18,089 人 中間値(R6) 19,500 人 目標値(R12) 19,750 人	9,561 人 (進捗率) -513.4%	10,584 人 (進捗率) -451.8%	12,057 人 (進捗率) -363.2%	無	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館や施設の利用制限はなかったため、前年度と比較すると徐々に来館者・利用者が増えてきている。	
93	6-2	市民協働提案事業実施数(件)	△ 50.0%	第五次長総においては、市民協働提案事業の実績の延数としていたが、第六次長総においては、単年度の実施数とする。	市民協働課	基準値(H29) 4 件 中間値(R6) 9 件 目標値(R12) 10 件	5 件 (進捗率) 16.7%	13 件 (進捗率) 150.0%	7 件 (進捗率) 50.0%	無	令和4年度は入門コース5団体枠、市民提案型5団体枠、行政課題型2団体枠の予算を得て取り組んだ。R4の実績としては入門コース2団体、市民提案型3団体、行政提案型2団体の実施となった。予算枠を入門3団体、市民提案型及び行政提案型で6団体として継続する。	
94	6-2	こどもファンド事業応募者数(件)	△ 66.7%	応募団体数は、子ども達がまちづくりの楽しさ、大切さを学ぶことへの意識の高まりと、実際にまちづくり活動に携わる機会の創出を把握することができるため。	市民協働課	基準値(H29) — 件 中間値(R6) 13 件 目標値(R12) 15 件	11 件 (進捗率) 73.3%	10 件 (進捗率) 66.7%	10 件 (進捗率) 66.7%	無	10団体分の予算枠において、応募が10団体であった。審査の結果、10団体が採択となり事業実施した。今後も同予算枠で継続する。	
95	6-3	市内在住外国人の満足度(%)	— —	平成29(2017)年度に実施した、市内在住外国人アンケートの結果を満足度と捉えた。基準値48.6%を元に最終目標において、20%増加を目指し60%と設定した。中間年度においては、約10%増を見込んでいる。	なとりの魅力創生課	基準値(H29) 48.6 % 中間値(R6) 54.0 % 目標値(R12) 60.0 %	名取市国際交流大綱(改訂版)の中間で予定するアンケート調査で確認することとしている。			無	施策の展開に必要な意見を吸い上げるために、名取市国際交流大綱(改訂版)の中間年度である令和5年度にアンケート調査を実施する予定としている。	

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	進捗管理			新型コロナウイルスの影響	進捗状況及び今後の取組方針について (令和4年度末の状況)	(新型コロナウイルスの影響が【有】とした場合) 指標とは代わる別の取組み状況等	
						成果指標	R2	R3				R4
96	6-4	市の審議会等委員における女性の登用率(%)	△ 13.1%	男女共同参画計画にも指標として設定していることから継続して設定する。全国的にも調査指標となっている。	市民協働課	基準値(H29)	28.9%	31.8%	29.3%	29.7%	無	あて職による委員登用は別として、各部署で女性委員登用促進を意識し取り組んでいる。第三次名取市男女共同参画計画の進捗管理の中で、今後も各部署への啓発を継続して行う。
						中間値(R6)	30.0%					
						目標値(R12)	35.0%					
97	6-5	先進的なサービスの社会実験・実証実験の実施数(件) 【累計】	◎ 100.0%	民間事業者が実施する先進的なサービスの社会実験・実証実験を積極的に受け入れるため指標に設定。第六次長総策定時点において、具体的なモデル事業等の想定はないが、中間までに社会実験等を1件導入し、先進的な取り組みの導入を目指していく。	政策企画課	基準値(H29)	— 件	0 (0) 件	1 (1) 件	3 (2) 件	無	令和4年度は、市役所本庁舎や橋梁など計5カ所の社会インフラを対象に「ドローンを活用した診断業務」に関する実証実験を実施したほか、電子式及び電磁式の水道メーターに無線通信端末を接続し、無線通信により水道使用量を自動で検針「スマート水道メーター」に関する契約を締結した。 また、令和5年度においては地域公共交通分野におけるAIデマンド交通の実証実験を行う予定としており、行政の効率化、市民の利便性向上に向け、今後も民間事業者が所有するノウハウやデジタル技術を活用した先進的な取組の実装に取り組む。
						中間値(R6)	1 件					
						目標値(R12)	3 件					
98	6-6	広告掲載や施設命名権による歳入額(千円)	△ 35.1%	歳入額を指標とする。現状実施しているバナー広告や封筒作成等の効果額:1年あたり約2,800千円 ・11年後の効果額 54,833千円 ・新規項目による効果額 10,000千円見込み 54,833千円+10,000千円≒目標値65,000千円 ※中間年は(30,800+10,000)×1/2≒20,000千円で見込む	政策企画課	基準値(H29)	24,033 千円	32,993 千 (3,050) 円	35,595 千 (2,602) 円	38,395 千 (2,800) 円	無	市HPにおけるバナー広告や封筒作成等に取り組んでおり、今後も継続していく。また、新たな取り組みの導入について情報収集や検討を行い、更なる財源確保に取り組む。
						中間値(R6)	44,000 千円					
						目標値(R12)	65,000 千円					